

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを
証明する。



財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒木 勝一
埼玉県草加市稲荷 20 号

試験名称	床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 カナイ 所在地：埼玉県八潮市西袋 7 1 7 - 1
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：金物工法／筋かいボックスGN 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物 取付位置：梁又は床合板及び柱に接する位置の壁体内 取付方法：筋かい金物の内側に筋かいを設置して緊結（図－1 及び図－2 参照） 寸法：120×120×47.3mm，厚さ2.3mm（図－5 参照） 材質：SGHC 227 (JIS G 3302) 2. 接合具 木ねじ：3 # 角ビット皿スクリー（ドリル刃先）φ5.5×45 柱側 4 本，筋かい側 7 本使用 3 # 角ビット皿スクリー（ドリル刃先）φ5.5×75 横架材側 4 本使用 3. 使用軸組等（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m） 梁：べいまつ，105×180mm，土台及び柱：すぎ，105×105mm 間柱：すぎ，30×105mm，筋かい：べいつが，45×90mm 床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ30mm 4. 試験体数 柱及び横架材との緊結に刻印のないねじ孔を使用（一般仕様）：3 体 柱及び横架材との緊結に刻印のあるねじ孔を使用（本金物を近接して使用する際，ねじ相互の干渉を防止するための仕様）：1 体 参照：図－1～図－6（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表－1 に示す。
試験結果	1mあたりの基準せん断耐力：3.5 kN，終局変形角γ_uの平均値：1/15 rad 耐力算定基礎資料等：表－2～表－4 荷重－せん断変位包絡線の比較：図－7 荷重－せん断変位包絡線，変形角曲線，変位曲線等：図－8～図－17 破壊状況：写真－1～写真－6
備考	当該試験結果から，厚さ30mmの床合板を介した筋かい入り木造軸組耐力壁は，木造軸組工法住宅の許容応力度設計の2章の2.1「筋かい端部の仕口」による1mあたりの基準せん断耐力は2.94kN以上（筋かい断面45×90mm），かつ，終局変形角γ_uは1/30rad 以上であることが明らかとなったため， 平成12年告示第1460号の一の二に定める接合方法の性能を満足する。
試験期間	平成21年 5月25日 ～ 27日
担当者	構造グループ 統括リーダー 川 上 修 試験責任者 室 星 啓 和 試験実施者 小 山 博 由
試験場所	中央試験所